



平成28年7月15日

ロウソクの取扱いにご注意を！

～ お盆やお彼岸の時期に火災が多く発生します ～

お盆やお彼岸を迎え、ロウソクを使用する機会が増えます。ロウソクによる火災は、本年27件発生し1人の死者が発生していることから、東京消防庁ではロウソクの取扱いについて注意を呼びかけています。

また、夏場に多く発生する落雷で停電した場合、照明代わりにロウソクの使用も予想されることから、併せて注意が必要です。

【ロウソクの主な使用目的】

ロウソクの使用目的を分類すると、大きく3つに分ける事ができます。

- 1 灯明
仏壇や神棚、祭壇等で使用
- 2 照明
電気の供給を止められた時の照明代わりや、室内の雰囲気作りで使用
- 3 アロマテラピー
火をともしることにより、様々な香りを楽しめ、リラクゼーション効果が得られるとして使用（芳香療法）

【火災発生状況】

- 1 ロウソクによる火災は、過去5年間で261件発生し、死者10人、負傷者127人と多くの方が受傷しています。
また、今年の火災件数は28件、東京など関東圏の一部では7月15日を中心にお盆を迎えることから盆の入りである13日以降に3件の火災が発生しています。（7月14日現在の速報値）
- 2 灯明を不安定な状態で燭台に置き、使用中に灯明が転倒して仏具に着火した火災や、灯明の近くに置かれたお供え物に着火した火災、お供え物をしようと手を伸ばした際に着ている衣類に着火した火災などが発生しています。
- 3 プレーカーが落ちたため、懐中電灯を探すためにロウソクで明かりを取り、玄関脇の収納棚に置いていた懐中電灯を探していたところ、付近の収納袋に着火した火災があります。

【火災を防ぐために】

- 1 ロウソクを使用しているときは、その場を離れないようにしましょう。また、直火を使わない電気ロウソクなどの活用を検討しましょう。
- 2 ロウソクは、金属製、陶・磁器製など、ロウソクの転倒や燃え尽きたときでも火がつかない物に、安定させて立てましょう。また、ロウソク立てを使用する場合、サイズに合わないロウソクを使用すると、ロウソクの底部が割れ、ロウソク立てから落下する危険があるので注意しましょう。
- 3 転倒に備え、周囲には燃えやすいものを置かないように注意しましょう。
- 4 万が一に備え、消火器や水の入ったバケツなど、消火の準備もしておきましょう。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

※ ロウソクの実験映像と火災の事例写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁 代 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5062 5066
広報課報道係 内線 2345～2350）

【別紙】

1 ロウソク火災状況

表1 火災状況（平成23～27年）

年 別	火 災 件 数							損 害 状 況				
	合 計	建 物					そ の 他	焼 損 床 面 積 (m ²)	焼 損 表 面 積 (m ²)	損 害 (千円) 額	死 者	負 傷 者
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
合 計	261	257	9	11	76	161	4	1,913	867	373,911	10	127
平成23年	55	53	2	3	21	27	2	444	272	87,259	6	26
平成24年	58	56	3	2	16	35	2	545	67	66,076	2	32
平成25年	52	52	3	4	12	33	-	577	186	117,857	2	30
平成26年	56	56	1	1	15	39	-	210	214	44,925	-	21
平成27年	40	40	-	1	12	27	-	137	128	57,794	-	18
平成28年	27	27	2	1	7	17	-	375	127	66,784	1	16

※1 合計欄の数値は、平成23年から平成27年の合計値です。

※2 平成28年の数値は7月13日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

(以下同じ。)

2 ロウソク使用目的別火災状況

表2 使用目的別火災状況（平成23年～27年）

年 別	合 計	灯 明	照 明	アロマテラピー	ち ょ う ち ん	そ の 他
合 計	261	122	61	60	2	16
平成23年	55	27	15	10	1	2
平成24年	58	25	17	13	-	3
平成25年	52	23	8	18	-	3
平成26年	56	29	14	9	-	4
平成27年	40	18	7	10	1	4
平成28年	27	19	2	5	-	1

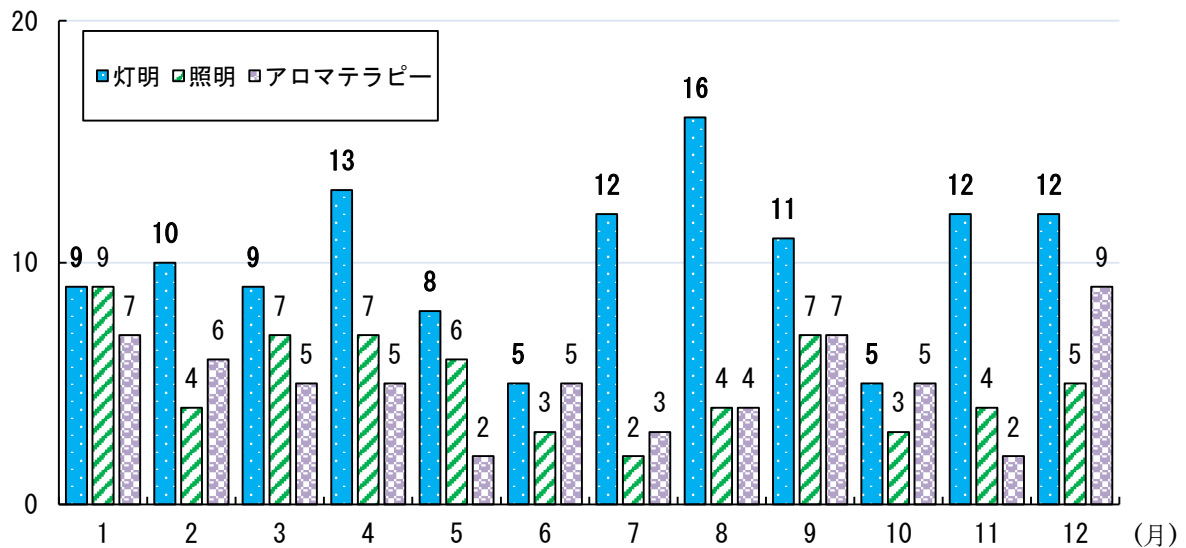
3 ロウソク使用目的別による月別火災状況

表3 使用目的別による月別火災状況（平成23年～平成27年）

月別	合計	灯明	照明	アロマテラピー	ちょうちん	その他
合計	261	122	61	60	2	16
1月	26	9	9	7	-	1
2月	21	10	4	6	-	1
3月	22	9	7	5	-	1
4月	25	13	7	5	-	-
5月	17	8	6	2	-	1
6月	13	5	3	5	-	-
7月	21	12	2	3	1	3
8月	25	16	4	4	-	1
9月	26	11	7	7	1	-
10月	16	5	3	5	-	3
11月	20	12	4	2	-	2
12月	29	12	5	9	-	3

図1 ロウソク使用目的別の月別火災状況（上位3位まで）

(件)



【別紙資料】

事例1 灯明に起因した火災（1）

出火日時 平成28年5月 6時ごろ 練馬区

用途等 住宅 防火造2/0 延80㎡

被害状況 建物部分焼1棟 2階1㎡、小屋裏3㎡、タンス等焼損、負傷者1人

概要

この火災は、住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の50歳代の男性が、神棚のろうソクに火をつけたまま出勤したため、神棚に供えてあったお菓子の袋がろうソクの火に接触し出火したものです。

発見、通報は、近隣者A（40歳代女性）が、ごみを出すために自宅を出たところ自宅西側の住宅2階の通気口から白煙が出ているのを発見し、近隣者B（40歳代女性）から火災の知らせを受けたため、自宅の電話から119番通報しました。

居住者は、近隣者の電話で火災の知らせを受け自宅に戻ったところ、2階の和室にあるたんすの上で炎が立ち上がっていたため、濡らしたバスタオルをたんすの上にかけて初期消火しました。

なお、この火災により、居住者が初期消火中に負傷（中等症）しました。

写真1-1 神棚付近の焼損状況



写真1-2 復元した状況



事例2 灯明に起因した火災（2）

出火日時 平成27年6月 7時ごろ 江戸川区

用途等 住宅 防火造2/0 延250㎡

被害状況 建物ぼや1棟、着衣若干焼損、負傷者1人

概要

この火災は、住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の80歳代の女性が、お経台の上に置いてある燭台の灯明で線香に火を点けた後、お経台と仏壇の隙間に入り線香を供えたところ、着衣の裾が灯明の炎に接触し着衣着火しました。

着衣着火したことに気付いた女性は、台所にいた長男の嫁と孫に助けを求めました。

長男の嫁と孫は、水道水を洗面器と片手鍋に汲んで消火した後、着衣を脱がせましたが、痛みが増してきたので自宅の電話で119番通報しました。

なお、この火災により、80歳代の女性が負傷（重症）しました。

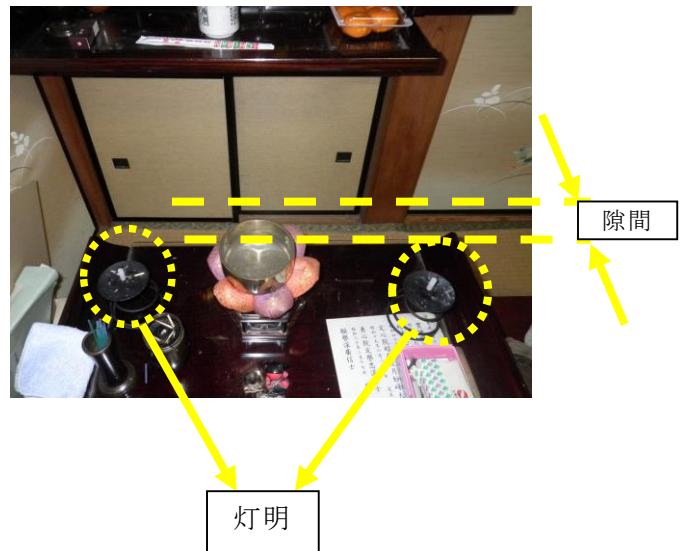
写真1-1 着衣の焼損状況



写真1-2 仏壇付近の状況



写真1-3 復元した状況



【資料映像】

実験1 ローソクを灯明として使用した場合

1 灯明が着衣に着火した状況



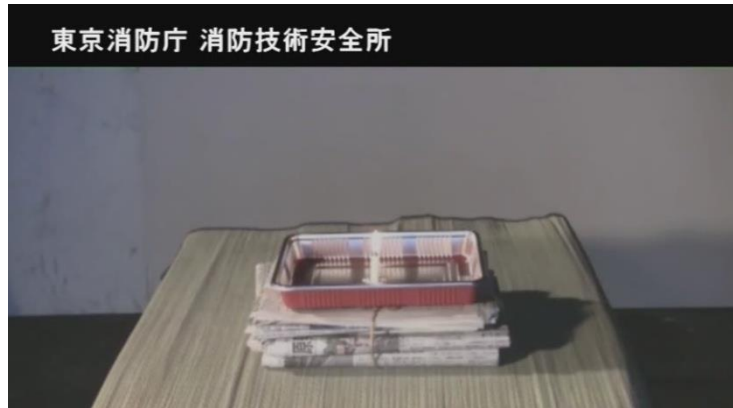
実験2 仏壇の灯明から出火した場合

1 供花に接触したため供花が灯明に接触し出火した状況

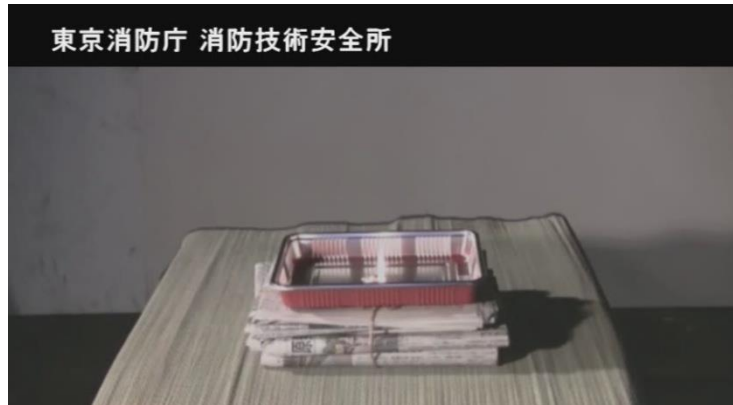


実験3 プラスチック製容器に立てたろうそくが燃え尽きた場合

1 実験開始時の状況



2 ろうそくが燃え尽き、プラスチック製容器に着火した状況



3 プラスチック製容器に延焼拡大した状況



4 延焼拡大した状況

